

資源循環型施設建設に関する説明会 概要 【下塩尻自治会】

1 開催概要

開催日時	令和6年4月24日（水）19：00～20：26	
開催場所	下塩尻公民館	
出席者	住 民	18名（下塩尻地区住民18名）
	行 政	土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員13名
	報道関係	- 社

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	環境影響評価（悪臭）について	<p>パッカー車の洗車は構内ですか。</p> <p>また、洗車等の排水はどのように処理するのか。</p>	<p>洗車場所は、パッカー車がごみを投入するプラットホーム（構内）で計画している。プラットホームは臭気の漏洩防止対策を行っている。また、施設内に別途洗車場を設ける可能性もある。</p> <p>洗車排水やごみに含まれる水分は水処理した後、排ガスの冷却水として再利用するため、施設外に排水はしない。</p> <p>なお、事務所から排出される生活排水は公共下水道に接続する。</p>
2	環境影響評価（水象）について	<p>資源循環型施設の稼働に伴う地下水の取水により、千曲川や地下水位に影響は出ないのか。</p>	<p>資源循環型施設は、現在稼働中の清浄園より取水量が少ない計画であるため、影響はないと考えている。事後調査やモニタリングで影響がないことを継続して確認していく。</p>
3	環境影響評価（事後調査）について	<p>悪臭の事後調査は当日の風上と風下2地点で測定となっているが、施設の東西南北4地点で実施してほしい。</p>	<p>環境影響評価の事後調査とは別に継続的に周辺環境モニタリングを実施し、住民の安心につなげていきたい。</p> <p>測定内容や場所等は皆様との話し合いで決めたい。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
4	環境影響評価 (予測結果)について	先行施設や現在の上田クリーンセンターと資源循環型施設との比較を一覧で示すと理解が深まる。	悪臭は、資源循環型施設と規模が近い、最新技術で建設された施設(佐久平クリーンセンター)を先行施設として定性的に評価した。御要望により、様々な比較もお示ししてまいりたい。
5	地域のまちづくり (地域要望)について	周辺整備事業予定地への交通アクセスが悪いため、しなの鉄道の新駅を要望する。	まずは新駅をはじめ様々な要望をお聞きしたい。あらためて、行政として御回答する機会を設けていきたい。
6	今後の進め方について	環境影響評価の手続き完了から、地元との合意形成、着工までのスケジュール感を教えてほしい。	広域連合長から申し上げたとおり、環境影響評価の手続き完了を目途として令和6年度中に清浄園を建設地として決定したい。 そのため、地域のまちづくりを含めて、皆様と大詰めの話し合いをしてまいりたい。 全体スケジュールは再検討のうえ、お示しするが、環境影響評価の完了後は、施設の建設・運営事業者の選定を進めていきたい。
7	その他 (事業計画)	排ガスに含まれる有害物質を除去する、ろ過式集じん器のフィルター(ろ布)の交換頻度はどれくらいか。	現行のクリーンセンターではフィルターの交換頻度を5年程度としている。また、定期点検で異常が見つければ、その都度部分的に交換する。 今後、資源循環型施設の運営計画も皆様にお示ししていく。
8		資源循環型施設は上田クリーンセンターと比較してどの程度、環境にやさしい施設になるのか示していただくと分かりやすい。 また、地下水と騒音の比較を要望する。	今回は排ガスの自主基準値の比較をお示ししたが、他の項目についても、施設の概要が定まったところでお示ししてまいりたい。
9	その他 (維持管理運営)	資源循環型施設は、清浄園より高い施設となるため道路が日陰になる。冬季に凍結事故が起きないように対応いただきたい。	北側市道の凍結防止策について、市の道路管理者や施設の維持管理業者と協議し定めていく。